

お口の健康を歯科衛生士と一緒に守り育てましょう！

年代ごと、個人ごとのオー
 ダーメイドの予防歯科でお口
 の健康をゲットしましょう！

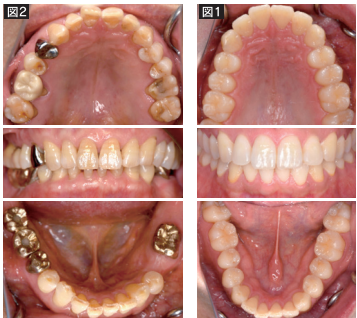
むし歯や歯周病の予防は、赤ちゃんがおなかにいるときから始まります。そして、赤ちゃんのとき、乳児のとき、学童のとき、思春期を経て大人のとき、それぞれの時期に大切な予防方法があります(図1)。大人になった後も、成人期、壮年期、そして高齢期でそれぞれ予防のポイントがあります(図2)。むし歯や歯周病以外にも、美しくしつかりと噛んで食べる呼吸ができるように歯並びを良くして、咀嚼嚥下機能を向上させておくことが大切です。人は、それぞれ抵抗力や病気になる易さが違います。そのため、1人ひとりにあったオーダーメイドの予防歯科が必要です。

歯科衛生士が予防歯科を
 実践します

口腔健康の案内役を務め、予防歯科を実践するのが歯科衛生士です(図3、4)。日本では、まだまだ認知度は高くありませんが、欧米では人気職業の上位にランキングされています。患者様の笑顔や感謝の気持ちに直接触れることができる、やりがいのある仕事です。国家資格ですので、結婚出産後も仕事を続けやすい安定したお仕事です。日々、日進月歩で発展する歯科医学に対する知識や技術の研鑽を求められますが、仕事を通して成長することができます(図5)。当院では、8人の歯科衛生士がワイワイ楽しく仕事をしています。半分以上が「ママさん衛生士」です。

優しく元気で明るい歯科衛生士のサポートを受け、「健康に美しく、一生自分の歯で食べる」を実現しましょう

虫歯や歯周病は完全に予防できる病気です。その他の口腔疾患もほとんどが予防できるようになってきました。患者様の口腔健康を親身になって考え、予防歯科を実践してくれる歯科衛生士に皆様の健康増進をサポートさせ、健康に美しく一生自分の歯で食べましょう。歯科衛生士による予防歯科にご興味のある方は、是非専門家に相談ください。



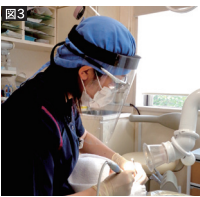
▲81歳男性。18年間、当院で壮年期、高齢期における予防歯科を受け、24本自分の歯。抜いた歯は18年間に1本のみ。“一生自分の歯で食べる”を実践している。



▲32歳男性。20年間、当院で学童期から成人までの予防歯科を受け、すべて自分の歯である。むし歯ゼロ。歯周病も問題ない。歯並びもきれいである。



▲患者様の治療の相談を笑顔で受けている歯科衛生士。



▲コロナウイルスの感染対策のため、ゴーグル、マスク、診療用帽子、グローブ、口腔外パキュムをして患者様の予防歯科(メンテナンス)を行っている歯科衛生士。



▲模型を使って研修中の新人歯科衛生士。先輩衛生士から親身な指導を受け成長中！



医療法人
 くららのうえ市丸歯科
 院長市丸英二先生

長崎大学歯学部大学院卒業後、米国のスタンフォード大学医学部研究員を務める。長崎大学臨床教授、日本歯周病学会認定専門医・指導医、日本口腔インプラント学会インプラント専門医として活動中。

TEL.0942-81-5410
 住/島根市上2丁目187番地 URL www.10shika.jp